

## 第 67 回大会 漁業経済学会 総会資料

### 〈報告事項〉

#### 1. 2019 年度事業報告

##### （1）渉外関係

水産・海洋科学研究連絡協議会が令和元年 11 月 28 日（木）に開催され、工藤貴史氏が渉外担当の馬場治氏の代理で出席した。

主たる議題は日本学術会議主催公開シンポジウムについてであった。

##### （2）組織・会員動向

##### （3）学会誌編集関係

##### （4）短信関係

##### （5）学会賞選考委員会報告

##### （6）その他：大会準備関係

### 〈協議事項〉

#### 1. 2019 年度決算報告および監査報告

#### 2. 2020 年度事業計画

##### （1）学会誌編集計画

##### （2）短信関係

##### （3）時期大会開催地・日程・シンポジウムテーマ等

#### 3. 2020 年度予算案

#### 4. 事務局体制について

#### 5. 学会賞選考委員会改選について

〈報告事項〉

1. 2019 年度事業報告

(2) 組織・会員動向

1) 2019 年度会員移動

- ・ 2019. 6. 29 の会員現勢

個人会員 228 名 (一般 188 名 学生 40 名)

賛助会員 4 名 (農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、東京水産振興会、漁港漁場漁村総合研究所)

- ・ 2019 年度退会者

井元 康裕、小野 征一郎、松井 求、藤本 宗一、岡本 勝、多屋 勝雄、田中 栄次、上原 政幸、三谷 卓美、濱本 俊策

以上 10 名

- ・ 2020. 5. 31 に会費未納で学会誌・短信を送付していない以下の会員を退会とした。

一般会員 32 名、学生会員 38 名

- ・ 2020. 5. 31 の会員現勢

個人会員 148 名 (一般 146 名 学生 2 名)

賛助会員 4 名 (農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、東京水産振興会、漁港漁場漁村総合研究所)

2) 2020 年度入会希望者

【一般】佐々木 稔基 (全国漁業共済組合連合会)、竹村 紫苑 (中央水産研究所)、中山 洋輔 (水産庁)、樋渡 公愛 (水産庁)、藤井 陽介 (水産大学校)

以上 5 名

【学生】PENG WEI (鳥取大学連合農学研究院)、倪 典夏 (三重大学大学院)、林 東薫 (長崎大学大学院)、楊 峻懿 (京都大学大学院)、Kere Glorisa (鹿児島大学大学院)

以上 5 名

- ・ 2020. 6. 1 の会員現勢

個人会員 158 名 (一般 151 名 学生 7 名)

賛助会員 4 名 (農林中央金庫、全国漁業共済組合連合会、東京水産振興会、漁港漁場漁村総合研究所)

## (3) 学会誌編集関係

## 1. 編集委員会の開催

## ●2019年度編集委員会体制

委員長：久賀みず保

編集総務：久賀みず保

編集委員：佐久間美明、鳥居享司、佐野雅昭

## ●編集スケジュール

	発行号		備考
	1号	2号	
原稿投稿締め切り	7月20日	1月20日	受付日
編集委員会	7月末	1月末	
査読			
査読結果回収	8月末	2月末	
編集委員会	9月初旬	3月初旬	掲載可の場合、受領日
審査結果送付			
修正稿提出締め切り	10月末	4月末	
編集委員会	11月初旬	5月初旬	掲載可の場合、受領日
発行・送付	1月中旬発行	6月中旬発行	

## ●実施状況

## 第1回編集委員会 (2019/7/31)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、鳥居享司、久賀みず保

## 第2回編集委員会 (2019/10/1)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、鳥居享司、久賀みず保

## 第3回編集委員会 (2019/12/6)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、久賀みず保

## 第4回編集委員会 (2020/1/31)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、鳥居享司、久賀みず保

第5回編集委員会 (2020/3/18)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、鳥居享司、久賀みず保

第6回編集委員会 (2020/5/29)

出席者：佐野雅昭、佐久間美明、鳥居享司、久賀みず保

2. 「漁業経済研究」の編集と発行

●第63巻第2号・第64巻1号合併号編集結果 (7/20 締め切り)

論文区分	投稿数	掲載
論文 (シンポ特集)	4	4
論文 (自由論題)	3 (論文2 研究ノート1)	4 (論文3 研究ノート1)
その他	0	0
書評	0	0

●第64巻2号編集結果 (1/20 締め切り)

論文区分	投稿数	掲載
論文 (自由論題)	1 (新規投稿：論文1)	0
書評	0	0

3. ディスカッション・ペーパー・シリーズ

2019年度の投稿はなかった。

#### (4) 短信関係

2019年度は、以下の3本の短信を発行した。

No. 144（2019年6月1日）：第66回大会案内

No. 145（2019年8月31日）：第66回大会総括

No. 146（2019年1月15日）：第67回大会案内

#### (5) 学会賞選考委員会報告

(1) 学会賞：山尾政博著『東南アジア、日本の水産技術協力 参加と持続性を促すアプローチ』（北斗書房、2020年3月）

当著作は、山尾氏が長年にわたり関わってきた水産分野の国際協力プロジェクト等の形成過程の特徴を分析した力作である。東南アジア諸国の水産業及び漁村社会の持続的な発展に日本の水産技術協力がいかに貢献したか、いかに貢献できなかったか。その成果と課題について、著者が自ら調査した具体的事例を元に、詳細かつ論理的・体系的に明らかにしている。他の誰もなし得ないオリジナリティ溢れる研究であると同時に、永年の研究と研鑽により達成された研究業績の結晶となっており、当著作は学会賞に相応しいものである。以上の理由より、選考委員会委員全員一致で当著作を学会賞と判断した。

(2) 奨励賞：推薦なし

#### (6) その他：大会準備関係

(1) 第67回大会準備

今年度はコロナ禍のおり研究集会開催がはばかれる状況のもと、佐野代表理事が4月3日に第67大会の対応についてメールで総務担当、会計担当、HP担当、シンポコーディネーターに相談。4月6日の緊急事態宣言を受けて東京海洋大学での実施を中止し、オンライン開催とすることを決定した。シンポジウム報告や一般報告もオンラインで行うこととした。これについて短信147号で会員に告知した。また、シンポジウム報告、一般報告に関しては、6月5日に学会HP上にアップした。

(2) シンポジウムテーマ

シンポ企画委員を中心にメール審議を経て『新時代の沿岸漁業 ―あい路からの脱却は可能か―』に決定した。

## 〈協議事項〉 1. 2019年度決算報告および監査報告

2019年度決算報告 (案)

資料1

## 1) 収入の部


大科目	小科目	予算	決算	決算-予算
会費	(小計)	1,500,000	1,532,000	32,000
	一般会員		1,212,000	
	学生会員		20,000	
	賛助会員		300,000	
会誌売上	(小計)	200,000	123,657	-76,343
	事務センター扱		123,657	
	事務局扱い		0	
大会収入	(小計)	350,000	288,000	-62,000
	参加費		152,000	
	懇親会費		136,000	
雑収入	(小計)	0	8	8
	利息		8	
	その他		0	
当期収入合計		2,050,000	1,943,665	-106,335
前期繰越金		4,991,560	4,991,560	
収入合計		7,041,560	6,935,225	-106,335

## 2) 支出の部

大科目	小科目	予算	決算	予算-決算
会誌等印刷費	(小計)	900,000	821,100	78,900
	学会誌		708,400	
	短信		112,700	
通信発送費		150,000	201,448	-51,448
事務局費		50,000	0	50,000
会計管理委託費		200,000	135,602	64,398
会議費	(小計)	350,000	10,000	340,000
	シンポジウム		10,000	
	理事会等 編集委員会			
学会賞等賞金		50,000	20,000	30,000
大会経費	(小計)	350,000	354,770	-4,770
	要旨集印刷費		77,760	
	バイト代		60,000	
	懇親会費		160,000	
	シンポ等食費		0	
	会場使用料		57,010	
	その他		0	
雑費		10,000	0	10,000
その他 (ホームページ作成)		250,000	242,000	8,000
当期支出合計		2,310,000	1,784,920	525,080
繰越金		4,731,560	5,150,305	-418,745
支出合計		7,041,560	6,935,225	106,335

## 3) 財産目録

種類	預入先	金額
普通貯金	三菱UFJ銀行	128,298
振替貯金	郵便局	5,021,287
現金		720
合計		5,150,305

監査の結果上記の通り  
 木目違ありません  
 2020年5月26日  
 監事 工藤 貴史 

## 2. 2020 年度事業計画

### (1) 学会誌編集計画

#### 1. 2020 年度編集委員会体制

委員長：久賀みず保

編集総務：久賀みず保

編集委員：佐久間美明、鳥居享司

- ① 編集委員長はすべての責任を負う。
- ② 編集総務は、編集スケジュールを管理し、進行させる。また、投稿者と編集担当との原稿や査読結果の送付・受け取り事務を担う。
- ③ 編集委員は、査読結果の判定についての妥当性を判断および編集総務の補助を行う。
- ④ 編集委員会委員（編集総務も含める）の任期は1期以内とする（1期2年）。
- ⑤ 編集委員会委員（編集総務も含める）は「論文」の一般投稿を許されない。

#### 2. 編集作業と作業分担

- ① 編集委員会で各投稿論文に対して査読候補者2名と編集担当1名（編集委員）を選ぶ。
- ② 編集総務は、編集担当に原稿（現物＋電子ファイル）と各種様式（電子ファイル）を送る。
- ③ 編集担当は、査読候補者に連絡し了解を得た後に、投稿原稿と査読様式を査読者に送付する。
- ④ 査読者は、期日までに査読結果を編集担当に送付する。
- ⑤ 編集担当は、2名の査読者からの査読結果を受け、それを取りまとめて最終査読結果（案）を編集総務に送付する。査読者から期日内に提出されない場合は催促する。
- ⑥ 編集担当の最終査読結果（案）に基づいて編集委員会で審議し、掲載の可否を決定する。
- ⑦ 編集総務は最終査読結果を投稿者に送付する。
- ⑧ 掲載可の原稿については、編集総務が出版業者に原稿（現物＋電子ファイル）を提出する。
- ⑨ 初校は著者が行い、最終稿は編集総務がチェックする。

## 3. 編集スケジュール (第 65 巻)

	発行号		備考
	64 巻 2 号・65 巻 1 号合併号	65 巻 2 号	
原稿投稿締め切り	7 月 20 日	1 月 20 日	受付日
編集委員会	7 月末①	1 月末④	
査読			
査読結果回収	8 月末	2 月末	
編集委員会	9 月上旬②	3 月初旬⑤	掲載可の場合、受理日
審査結果送付			
修正稿提出締め切り	10 月末	4 月末	
編集委員会	11 月上旬③	5 月初旬⑥	掲載可の場合、受理日
発行・送付	1 月中旬発行	6 月中旬発行	

## 4. 編集委員会の開催予定と主たる議題

第 1 回編集委員会 (2020 年 7 月下旬) : 投稿論文の担当者・査読者決定

第 2 回編集委員会 (2020 年 9 月上旬) : 査読結果審議、書評候補審議

第 3 回編集委員会 (2020 年 11 月上旬) : 第 64 巻第 2 号・第 65 巻第 1 号合併号への  
掲載可否決定、書評依頼

第 4 回編集委員会 (2021 年 1 月中旬) : 投稿論文の担当者・査読者決定

第 5 回編集委員会 (2021 年 3 月初旬) : 査読結果審議

第 6 回編集委員会 (2021 年 5 月初旬) : 第 65 巻第 2 号掲載可否決定

## 5. 投稿数の促進について

投稿数が少なく、継続的な発行が困難な状況にあるため、新たに新設された「報告論文」ならびに「英語論文」の投稿を HP などで呼びかけを行うこととした。ディスカッション・ペーパーについても HP 上で投稿を促していく。

## 6. 投稿規定・執筆要領の英文化を予定している。



## 「漁業経済研究」の投稿案内

## 1. 投稿規定と執筆について

投稿規定は2019年12月25日改正版のものとします。「投稿規定」と「執筆要領」をよく読んでください。

## 2. 編集スケジュール

	発行号		備考
	1号	2号	
原稿投稿締め切り	7月20日	1月20日	受付日
編集委員会	7月末	1月末	
査読			
査読結果回収	8月末	2月末	
編集委員会	9月初旬	3月初旬	掲載可の場合、受領日
審査結果送付			
修正稿提出締め切り	10月末	4月末	
編集委員会	11月初旬	5月初旬	掲載可の場合、受領日
発行・送付	1月中旬発行	6月中旬発行	

## 3. 提出方法

投稿者は、編集委員会宛てに、以下の①②③の全てを送付すること。

- ① 打ち出し原稿の提出部数は、区分を問わず、3部とする（郵送）。
- ② 電子ファイルを電子メールにて添付ファイルとして送付またはCDに保存し郵送すること。
- ③ 「漁業経済研究」投稿原稿送り状（別紙）の電子ファイルを電子メールにて添付ファイルとして送付または打ち出したものを郵送すること。

提出先：漁業経済学会編集委員会 委員長 久賀みず保

〒890-0056 鹿児島市下荒田4-50-20 鹿児島大学水産学部内

gyokeied@gmail.com Tel. 099-286-4290 Fax. 099-286-4297

## (2) 短信関係

現時点で以下の通り、短信発行を予定している。しかしコロナの情勢に応じて、変更することもある。

No. 147（2020年4月9日）：第67回大会案内（担当：甬喜本 発行済）

No. 148（2020年7月下旬）：第67回大会総括

No. 149（2020年1月上旬）：第68回大会案内

## (3) 次期大会開催地・日程・シンポジウムテーマ等

開催地、日程に関しては、東京（東京海洋大学）あるいは鹿児島（鹿児島大学水産学部）で調整を行っている。決まり次第短信で連絡する。シンポジウムテーマは、これまでと同様に8月末までに応募者は企画書を代表理事宛に提出することとする。また、シンポジウムテーマはシンポジウム企画委員会で決定することを提案する。

## 3. 2020年度予算

## 2020年度予算 (案)

## ①収入の部

科目	2020年度	2019年度	増減
会費	1,500,000	1,500,000	0
会誌売上	200,000	200,000	0
寄付金	0	0	0
大会収入	0	350,000	(350,000)
雑収入	0	0	0
当期収入合計	1,700,000	2,050,000	(350,000)
前期繰越金	4,991,560	4,991,560	0
合計	6,691,560	7,041,560	(350,000)

増減：予算額-前年度予算額

## ②支出の部

科目	2020年度	2019年度	増減
会誌等印刷費	900,000	900,000	0
通信発送費	150,000	150,000	0
事務局費	50,000	50,000	0
会計管理委託費	200,000	200,000	0
ホームページ管理費	60,000	0	60,000
会議費	350,000	350,000	0
学会賞等賞金	50,000	50,000	0
大会経費	0	350,000	-350,000
雑費	10,000	10,000	0
その他	0	242,000	-242,000
当期支出合計	1,770,000	2,302,000	-532,000
繰越金	4,921,560	4,739,560	182,000
合計	6,691,560	7,041,560	-350,000

増減：本年度予算額-前年度予算額

#### 4. 事務局等の体制について

総務 甫喜本憲

会計・会員管理担当 常清秀

編集総務 久賀みず保

HP管理 大西学

渉外関係（水産・海洋科学研究連絡協議会） 馬場治

#### 5. 学会賞選考委員の改選について

一部委員の改選を大会時に行う予定であったが、今大会がオンライン開催となり理事会における改選のための投票を行うことが困難である。非常にまれな事情であることから、全員の任期をそれぞれ1年ずつ延長し、今年度予定された改選を来年度に行うことを提案する。

##### ●2020年度委員会体制

委員長：(代表理事)佐野雅昭

委員：浜田武士、三木奈都子、伊藤康宏、末永芳美、工藤貴史、東村玲子

##### ※学会賞選考規定

- (1) 委員の選出は、総会での選出による。任期2年、再任不可。
- (2) 委員数は7名とし、うち1名は代表理事をあてる。
- (3) 委員が辞任した場合は、次の総会で欠員を補充する。任期は、前任者の残りの任期とする。